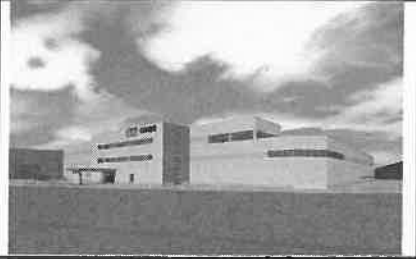


CASBEE[®]-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)本田味噌醸造部新工場増築工	階数	地上3F
建設地	京都府綾部市とよさか町12番2	構造	S造
用途地域	工業専用地域、法22条地域	平均居住人員	100人
地域区分	5地域	年間使用時間	3,150時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	
竣工年	2020年2月 予定	評価の実施日	2018年12月3日
敷地面積	29,464 m ²	作成者	中野
建築面積	6,439 m ²	確認日	2018年12月5日
延床面積	7,303 m ²	確認者	井塚



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.0 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p> <p>環境効率</p> <p>環境負荷 L</p>	<p>30% ★★★★★ 60% ★★★★★ 80% ★★★★★ 100% ★★★★★ 100%超: ★★★★★</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>92 (kg-CO₂/年・m²)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。</p>	<p>Q2 サービス性能 5</p> <p>Q1 室内環境</p> <p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>LR1 エネルギー</p> <p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR2 資源・マテリアル</p>

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q のスコア = 3.1		
Q1 室内環境 Q1のスコア = 0.0 <p>音環境 温熱環境 光・視環境 空気質環境</p>	Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.5 <p>機能性 耐用性 対応性</p>	Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア = 2.8 <p>生物環境 まちなみ 地域性</p>
LR のスコア = 3.0		
LR1 エネルギー LR1のスコア = 2.9 <p>建物外皮の 自然エネ 設備システ 効率的</p>	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.1 <p>水資源 非再生材料の 汚染物質</p>	LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.2 <p>地球温暖化 地域環境 周辺環境</p>

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
本案件は、工業団地の丘陵地に建設予定の工場であり、地域環境に配慮し計画している。 また、食品工場である為、衛生面に配慮した施設となっている。		工場で排出される工場排水を処理する過程で発生するメタンガスを利用し、ボイラーで蒸気をつくり、工場機器二供給している。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
食品工場の用途に必要な各々の対策を設けた施設。	清掃等、維持管理をしやすい様、メンテナンス性に配慮している。	周辺のまちなみや風景に調和を図る為、仕上材料及色彩に配慮している。 壁面の仕上材料に変化を加え、圧迫感等を感じさせない様工夫している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
エネルギーの削減を目指し、便所等の照明に人感センサー等を採用した。	エネルギーの削減を目指し、節水型便器を採用した。	自動車の利用率の高い地域で有る為、十分な駐車場を確保する等の計画を行っている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される